



小学生・中学生の皆さんへ

2021年[令和3年]

発行：荒川区
発行部数：23,000部
〒116-8501
荒川区荒川2-2-3
☎(3802)3111

あらかわ区報 Jr

11.17
No.143

あらかわ区報Jr.は
荒川区ホームページで
ご覧になれます

<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a004/kouhou/kuhoujr/arakawakuhojr.html>

ARAKAWA KUHO JUNIOR

ジュニア



江戸



EDO NO
SATOKAGURA
えどのかぐら



里神楽

古いにしへから
伝でん統とう文ぶん化か
文化ぶんかに
伝つたわわる

神



の魅力に触れてみよう!



国の重要無形民俗文化財に指定されている江戸の里神楽は、笛や太鼓のお囃子とともに舞い演じる無言劇(黙劇)です。今回は、西日暮里で江戸の里神楽を伝承する土師流 家元 五代目 松本源之助師匠の指導のもと、第四中学校のジュニア記者たちが里神楽を体験しました。衣装や動きに込められた歴史を学びます。



新型コロナウイルス感染症予防のため、取材時は全員がマスクを着用していますが、撮影のためにマスクを外している場合があります。

問い合わせ 荒川ふるさと文化館 ☎(3807)9234

次は12月に発行する予定です

ジュニア記者が

古事記・日本書紀の神話



江戸から続く伝統
思いを込めて継承

『天孫降臨』の演目に挑戦!

松本源之助社中が伝承する江戸の里神楽は東京だけでなく地方の神社のお祭りにも出向き、伝統と歴史を伝えています。“神楽”と聞くと難しくそうですが、神話の神様だけでなく「もどき」と呼ばれる面白おかしいキャラクターが活躍したり、人気漫画に出てくるような狐や天狗などさまざまな面が登場したりと見どころがいっぱいです。江戸の里神楽に触れて、伝統の世界を体験してみよう!



松山芽生さん

まずは、神楽の動きを練習

最初は基本の立ち方と、足の踏み出し方から覚えていきます。鏡を見ながら一歩ずつ!



今回ジュニア記者たちが体験するのは、地域の神社のお祭り・行事の際に奉納される演目『天孫降臨』の中のワンシーンです。登場人物は、サルタヒコとアメノウズメという神様。神様役の二人が背中合わせになって左右対称に踊る「相生の舞」を演じます。松本源之助師匠と松本社中の皆さんの丁寧な指導で、舞の動きを一つずつ覚えるジュニア記者たち。顔つきもグッと引き締まります。

▼神楽用の舞扇は、手で回しやすいようにおもりの付いた特別なもの。お手本をよく見て扱います



▲小さな鈴が15個付いた神楽鈴は、手をひねるように鳴らす使い方が特徴です

『天孫降臨』を実演!

衣装の着付けが終わったら、ついに楽曲を流しての実演! 面を付ける際には、まず“面を自分の方に向け”、“演じさせていただく”という敬意を払ってから顔に付けます。「周りが見えにくけれど、面を付けると自分じゃないみたい」と松山さんの言うとおり、面を通した視界は狭く、付けた人にしか分からない世界が広がります。さあ、うまく踊れるかな?



▲視界が狭いので、腕の位置などを支えて教えてもらいます



▲向かい合って対称的に。力強さと華やかさが共演する場面です



▼膝をつくなどの大きな動きも、丁寧にこなすと見映えが美しくなります

『天孫降臨』はこんな話

『天孫降臨』とは数ある神楽の演目の一つで、日本神話を題材とした演目です。太陽を司るアマテラスオオミカミの孫・ニニギノミコが天から地上に降りてくる際にお供をしたアメノウズメと、地上までの道案内をしたサルタヒコがペアとなって舞を踊ります。このエピソードから、サルタヒコは旅の神様などとして今もまつられています。

ただ今、着付け中

神楽の衣装を着てみよう!

▶前もを腰に巻いて調整する、伝統的な袴の巻き方です



▲帯(石帯)を締めて着付けは完成! 気持ちも引き締まり、心なしか背筋もピンと伸びます

一通りの動きを覚えたら、ついに神楽の衣装に袖を通します。一般的な着物とは違った「狩衣」の着付けにジュニア記者たちも興味津々! 通常の神楽舞の際には、衣装の下に神社の宮司さんが着ているような白色の単を着ます。今回使用する袴は、足を入れる部分が分かれている「馬乗り袴」と呼ばれるものです。ほかに、スカートのような形の「行燈袴」という袴が使われる場合もあります。

アメノウズメの衣装

歌や踊りの神としてまつられ、巫女としての役割も持つアメノウズメの衣装は、明るい色にゆったりとした形が特徴です。面は「細女面」という目を細めて笑っている女性の面ですが、いわゆる「おかめ」の面を使用することもあります。



▶大ぶりの菊の花や、流れるような桜の花びらなど、芸能の神にふさわしく全体的に華やかな紋様です

サルタヒコの衣装

勇猛なサルタヒコの衣装は、平安時代に多く着られた狩衣という着物。前の裾を袴に入れずに垂らす「覆水干」と呼ばれる着付けをしています。天狗のイメージの原型となった面は真っ赤な顔に鋭い目、長い鼻と迫力満点です。



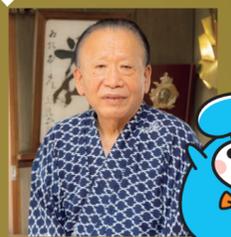
▶袖に付いた「露」というひもは、袖を絞る時に使われます。かっちりとしたラインです

動画でCHECK!
ジュニア記者たちの取材の様子を動画で見てください!



五代目 松本源之助師匠から 小・中学生の皆さんへ

昔と今ではお祭りの楽しみ方が変わったので、神楽の舞台はBGMのように感じている人がほとんどだと思います。今回、若い人たちに私たちが伝承する江戸の里神楽に触れてもらい「日本にはこういう文化があると知ってもらえたことが、とてもうれしいです。演じている私たちも「時代に合わせて見せ方を変えていくことも必要だ」と考えています。これからも工夫して江戸の里神楽の発展と継承活動をしていきます。下町の神楽だからこそ、もっとリラックスして皆さんに面白おかしく楽しんでもらえるようにしたいですね。



PROFILE
重要無形民俗文化財保持団体
松本社中代表
現在も四代自瀧之助の遺志を継いで、江戸の里神楽の発展と継承活動に邁進しています。

松本源之助社中 ☎3894-6923



小野田智くん

もうすぐオープンの あらかわ遊園 情報



メリーゴーランド



あらかわ遊園のメリーゴーランドは楽しさがいっぱい。馬の乗り物だけでなく、パンダ、イルカ、恐竜にも乗れちゃいます。ぜひ、全種類を制覇してみよう。

あらかわ遊園は、約3年半の改修工事をへて、いよいよ令和4年春にリニューアルオープンします！

観覧車やスカイサイクルなどのアトラクションが新しくなったり、今まで以上にたくさんの動物たちとのふれ合いが楽しめます。一日いても時間が足りないかも。施設内の売店では美味しいメニューが盛りだくさん。

新しいあらかわ遊園の開園まで、楽しみに待っててね！

スカイサイクル

のりもの広場をぐるっと1周。電動アシスト機能付きサイクルで、スイスイ進みます。



わくわくハウス



1階には、手軽に食べられるメニューが豊富な売店があります。2階には、雨の日でもさまざまな遊具で楽しめる室内遊び場があります。建物南側には釣り堀もあり、わくわくいっぱい建物です。

ウォーターシューティングライド



中央の建物に向けて放水を行うアトラクションです。消防士になった気分が放水し、高得点を目指して頑張ってください。最高得点者には、何かが起こるかも。

観覧車



直径40mで1周約9分の空中散歩を楽しめます。東京スカイツリーや、天気の良い時は富士山を見ることが出来ますよ。夜には色とりどりのライトアップが楽しめます。



Topics

防災部被災地訪問報告会を行いました

8月27日、ゆいの森あらかわゆいの森ホールで荒川区中学校防災部被災地訪問報告会を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響で、今年も防災部の生徒たちが直接被災地を訪問することはできませんでしたが、タブレットPCで釜石とつなぎオンラインでの報告会を実施しました。はじめに、釜石市役所防災課、いのちをつなぐ未来館、防災士の皆さんの講話を聞き、釜石東中学校の生徒たちとは双方向での意見交換を行い防災についての学びを深めました。その後区内の中学生からは、これまでの活動で学んだことや今後中学生として取り組んでいくこと、三角巾を利用した応急処置の実演などが発表されました。今後も防災部の活動にご注目ください。



各中学校の防災部員たち



オンラインでの講話の様子

あらかわ 今昔ものがたり

〔あらかわの歴史と伝説〕

その133

子狐コンコン、穴の中!?

～石浜神社の御出狐～

秋も深まってきて収穫を感謝する季節がやってきたね。今回は、「江戸の里神楽」の演目にも登場する狐さんのお話だよ。「コン」。

町の中の石の狐 みんなは、動物園以外で狐を見たことがあるかな？ え、近所の神社で見たって。どんな狐かな。何々、石の狐だって。よく気が付いたね。街角やお家の庭にも小さなお社を見かけることがあるよね。その多くがお稲荷さん(稲荷神社)なんだよ。

怖い狐とありがたい狐 江戸にたくさんある物のたとえに「伊勢屋、稲荷に犬の糞」と言うことわざがある。お稲荷さん(稲荷神社)は商売繁盛・家内安全などにご利益があると信仰され、今でも各地にお祀りされているんだ。ほとんどのお稲荷さんの前には向かい合った狐がお行儀よく座っているよね。

狐は昔から人をだましたり、人にとりついたりする動物として恐れられてきた。その一方で、お稲荷さんのお使いとも言われているんだよ。お稲荷さんにお願いをすると油揚げを

【問合せ】荒川ふるさと文化館 ☎(3807)9234



野執筆 野尻さん

お供えすることがある。油揚げは狐の好物といわれ、願い事を神様に取り次いでくださいという気持ちを込めてお供えするんだって。

「おいでおいで」狐さん 白鬚橋の近くにある石浜神社(南千住三丁目)は、江戸時代は四季の景色が楽しめる名所として知られていた。そして神社内の真崎稲荷は、江戸っ子に大人気のお稲荷さんだった。その奥の院の境内に開けられた穴に何と本物の狐が住み着いていたんだって。名前は「御出狐」！ お願いがあるときは、穴の側に油揚げをお供えするんだ。神主さんが「おいで、おいで」と拍手を打って、狐が出て来てお供えを食べれば願い事が叶い、食べなければ叶わないと言われていて、とても流行したんだってさ。今でいうパワースポットのひとつだね。

石浜神社の境内には「御出狐」の名残と言われる「白狐祠」があるよ。今度、隅田川沿いを散歩する時に立ち寄ってみてね。「コン」。



真崎稲荷『諸国道中金の草鞋』1編(国立国会図書館蔵)